| | |
|---|---|
| 事例No. | 2880 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | 一般市 |
| 団体名 | 香川県三豊市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・移住定住<br>・人材確保・育成 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 人材確保・育成 |

事例内容・タイトル

事例８　香川県三豊市 瀬戸内ワークス株式会社 その１、その2

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会（第3回）

# 事例８　香川県三豊市　瀬戸内ワークス株式会社　その１

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 団体名 | 瀬戸内ワークス株式会社 | | 運営形態 | 株式会社 |
| 活動範囲 | 所在市区町村内全域 | | | |
| 中核を担う職員等 | 任用形態 | 常勤 | 出身地 | 関東 |
| | 年齢 | 30代 | | |

**【取組み概況】**

○主な事業としては、「UDON　HOUSE」という、うどんづくり・自ら作ったうどんの食事が可能な**体験型宿泊施設**を三豊市から**受託**し、地域の魅力を発信している。

○自主事業として、**関係人口の増加、地域の人材不足を解消すること**を目的とし「GATE」という簡易宿所を経営している。また、瀬戸内ワークスが出資している法人**「瀬戸内ビレッジ」**にて**「URASHIMA VILLAGE」**という宿泊施設を経営している。

○**事業を安定化**、**より収益性のある事業**を作っていくというのが今後の課題。

○**経営戦略**として別事業で行っている宿泊施設や代表が別法人で行っている「暮らしの交通事業」という地域交通を考える事業等を連携させ**親和性の高い事業を揃えていく**ことを計画している。

**【設立の経緯】**

○2017年に設立した地域商社「瀬戸内うどんカンパニー（株）」の立ち上げに携わった事を契機に「UDON　HOUSE」という宿泊施設を**2018年にオープン**。運営会社として、**2019年に「瀬戸内ワークス株式会社」**を設立し、地域の観光・まちづくりに関連する事業に従事している。

# 事例８　香川県三豊市　瀬戸内ワークス株式会社　その２

【行政との関わり】

○関係人口の創出を目的とした、「三豊市観光戦略策定業務」の委託に際して、他社と共同での応募があり選考の結果委託事業者となったのが三豊市との関係性を持った契機。

○三豊市としては、瀬戸ワークスの行っている市の魅力発信等を通じて、関係人口の創出や移住者の増加を成果として感じている。

【中核を担う者の状況】

○代表は、前職は楽天に勤務しており、ホテルの営業や、地方自治体の地域プロモーションに従事していた。内閣府の協議会に楽天社員として関わった際に三豊市から「地域商社」を立ち上げたいという相談を受けたのが三豊市で活動する契機となった。

○楽天のような大企業の行う「地方創生」に疑問を持ち、楽天を退社した経緯があり、「地域」が主語・主役になる地域づくりを心がけて取組みを行っている。

○「UDON　HOUSE」のオープンに向け活動したのが最初の取組みであり、瀬戸内ワークスという会社を（株）UMARIの古田氏と共同で出資をして設立した。

○別法人で宿泊施設の経営、地域内の中小企業の人材育成の場を作るための法人の役員、地域交通を考える法人の役員を務めている。

○瀬戸内ワークスの常勤スタッフは３名おり、主に「UDON　HOUSE」の現場を中心に関わっている。香川県、中国、フィリピンの出身である。

○新しいプロジェクトを立ち上げる際は、その都度適材適所でメンバーを招いて行っている。また、メンバーは県外からの移住者が多数である。